

## 【高校教育課】

### 1 ふるさと長崎への愛着と誇りを持ち、地域社会や産業を支え、国際社会の発展に貢献しようとする態度を育みます

#### 社会に関かれた魅力ある学校づくりと高校を核とした地域創生

##### (新)高校・地域連携イキイキ活性化事業費 (13,555千円)

(事業期間：令和5年度～)

「地域の子どもを地域で育てる」気運を地域と高校が一体となって醸成し、地元県立学校が担う役割を地域と共有する中で、魅力ある学校づくりを目指す。生徒の主体性や創造性、実践力を基盤とした教育活動により、入学者の増加と、生徒の郷土への愛着を高め、地域への人材の還流を生み出す。

##### (1) 統括アドバイザーの配置

高校・地域連携コンソーシアムの組成・運営を支援するため、先進県の成功事例や、市町と県の役割分担等、他県の事例をもとに支援する統括アドバイザーを配置

##### (2) 地域アドバイザーの配置

市町、高校の活動に対して、地域の実態や地域企業等の情報をもとに、魅力化の取組、産業人材と企業との接続に関して伴走支援する地域アドバイザーを配置

##### (3) 高校の活動費を支援

学校魅力化活動費として、外部講師招聘にかかる経費や生徒・職員の移動旅費等を補助し、高校の魅力化に資する活動を支援



島原市と市内県立5校が連携したカフェ運営

#### ふるさと教育の推進

##### 長崎発 未来の創り手育成プラン (4,156千円)

(事業期間：平成30年度～)

新学習指導要領を踏まえ、地域を支える人材を育成するとともに、学校の魅力化を推進し、地域振興の核としての高等学校の機能強化を図る。また、課題探究型学習等を通じてふるさとへの愛着や誇りを育みながら、ふるさと定着につなげる取組を実施する。

##### (1) 高校生アントレプレナーシップゼミ

希望する生徒に対し、外部講師による集合研修を実施するとともに、県下の高校生のネットワークをつくり、起業家精神を持つ人材を育成

##### (2) 長崎を元気にするアイデアコンテスト

SDGsの17の目標に関連する長崎を元気にするアイデアを募り、オンラインで各校に配信して全県立高校生によるネット投票により優秀プランを選定する等、生徒の主体的なふるさと教育を推進

##### (3) 未来創造コーディネーター育成事業

20年後の社会を見据えて高等学校の在り方を考え、生徒たちの学びや意識に刺激や変化を与える新たな学びをデザインする教員を育成するための研修を実施



アントレプレナーシップゼミ最終発表会の様子

## 【高校教育課】

### キャリア教育・職業教育の推進

#### 高校生のためのふるさと長崎就職応援事業（65,041千円(産業労働部で予算計上)）

就職希望者が多い県立高等学校にキャリアサポートスタッフを配置し、生徒や保護者に対して県内企業の魅力と情報を提供するとともに、学校内での企業説明会、インターンシップの支援等を実施することで、県内企業への就職等を支援する。

#### キャリア教育・産業教育指導費（13,226千円）

近年の技術の進展や産業社会の著しい変化に即応するための人材育成及び技術・技能の伝承や正しい職業観を身に付けるためのキャリア教育の推進を図る。

##### （1）キャリア教育セミナー事業

県立学校に企業・研究機関や実社会の第一線で活躍している本県出身者等を講師として招へいし、産業界の変化に対応できる人材の育成を図るとともに、人生観、倫理観、職業観を醸成する。

##### （2）プロジェクト研究活動・GAP教育に対する支援（農業）

- ・地域の企業等と連携した新しい商品の共同研究開発及び商品化
- ・環境保全型農業や効率的で人にやさしい農業に対応できる農業起業家の育成
- ・希少動植物の保護・繁殖、品種の改良に関する共同研究

##### （3）技術・技能向上に対する支援（工業）

- ・「ものづくりコンテスト・ロボットコンクール県大会」の実施
- ・生徒の技術力向上講習及び教員研修の実施
- ・建設分野の人材育成

##### （4）プレゼンテーション能力・課題解決能力向上に対する支援（商業）

- ・「ビジネスアイデアコンテスト」の実施

#### インターンシップの推進

関係機関との連携により、インターンシップ補助事業（県産業教育振興会）、高校生の現場実習（県建設業協会）などを実施し、高校生の職業意識を高める。

- ・令和4年度実施校：公立高校（全・定）48校/65校（実施率73.8%）

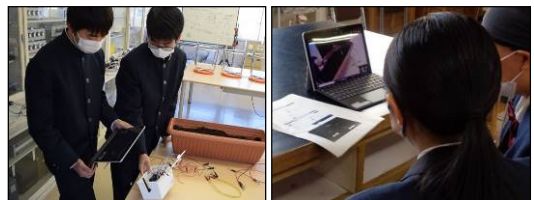
#### 長崎の未来を創る ワクワク産業教育実践事業（4,004千円）

##### （1）先端企業教員研修事業

先端技術や独自の技術を持つ企業や研究機関等での教員研修を実施するための環境を整え、教員が企業等での研修で知り得た先端の産業の状況を踏まえた授業を構成し、実習指導を行うとともに、実際に企業等と関わりながら、充実した探究活動等の実践につなげる。

##### （2）A I C（農工商）連携ネットワーク構築事業

農業、工業、商業等の高校がこれまで自前で完結してきた教育の内容に、他の専門分野を融合させながら、協働型の探究学習を展開することで、生徒に対して、次代の産業へ柔軟に対応できるような幅広い知識・技術を習得させる。



佐世保工高生開発の水分計測器を西彼農高生に遠隔で説明

##### （3）S O U G O（総合学科・相互）連携ネットワーク構築事業

県立の総合学科として学びの幅を広げ、多様化する生徒の学びのニーズに対応する。  
令和5年度は複数校がICTを活用しながら合同授業を試し、単位認定を目指して研究を深め、将来的には合同授業を教員の負担軽減につなげる。

## 【高校教育課】

### グローバル化に対応した教育の推進

#### これからの社会を生き抜く力を持ったグローバル人材育成事業（17,701千円）

- (1) 高校生の上海中国語研修事業（事業期間：平成17年度～）  
中国語を学習している本県高校生で、語学力の運用能力を高めることをめざす生徒を対象に、上海外国語大学において中国語の集中研修を行うとともに、現地の日系企業等でのキャリア研修を実施することで、中国との友好交流を担う人材の育成を図る。



上海外国語大学での研修

- (2) WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業  
（事業期間：令和2年度～）  
高度な学びを提供するアドバンスド・ラーニング・ネットワークの構築、グローバルな社会課題研究のカリキュラム開発、ICTの活用による国内外の高校・大学との連携、文理分断からの脱却を目指す取組を支援する。（文部科学省委託事業）

- (3) 1人1台端末を活用した指定校での実践研究事業  
（事業期間：令和4年度～）  
・グローバル化が急速に進展する中、生涯にわたる様々な場面で必要とされる英語によるコミュニケーション能力の土台の構築を図る。  
・授業の中で生徒の発信力を育成する指導法とその評価について研究し、横展開を図る。

#### 外国語指導助手等招致事業（231,937千円）

アメリカ、イギリス、中国等から外国青年を招致して、外国語担当教員の助手、教材作成の補助、部活動等の指導にあたらせ、中学校、高校の外国語教育の充実を図る。

- ・県立高校 49名配置

#### 高校生の離島留学推進事業（51,055千円）

（事業期間：平成15年度～）

離島留学制度実施校5校（五島、杵岐、対馬、五島南、奈留）において、特色ある教育活動の実施や地域との交流、離島留学生募集のための広報活動などを行う。

- (平成15年度から生徒受け入れを開始)
- ・対馬高校「国際文化交流科」 (定員 40名)
  - ・杵岐高校「東アジア歴史・中国語コース」 (定員 20名程度)
  - ・五島高校「スポーツコース」 (定員 20名程度)
- (平成30年度から生徒受け入れを開始)
- ・五島南高校「夢トライコース」 (定員 20名程度)
  - ・奈留高校「イングリッシュ・アイランド・スクール」 (定員 40名の内10名程度)



原の辻遺跡見学の様子

#### 長崎県高校生英会話力テスト

（事業期間：平成28年度～）

高校生の英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、スピーキングテストを実施し、各学校において発信力を高める英語教育の取組を推進する。

## 【高校教育課】

### 平和教育の推進

#### 平和教育の推進

平和的で民主的な社会の形成者としての資質を育むため、戦争の悲惨さや核兵器の非人道性、そして平和の尊さなど実感をもってしっかりと理解できるよう、「長崎原爆の日」を中心とした平和教育の充実に努める。

## 2 社会の変化に主体的に関わるための資質・能力を育み、一人一人の可能性を伸ばします

### 一人一人を確実に伸ばす確かな学力の育成

#### 長崎発 未来の創り手育成プラン (4,156千円)【再掲】

(事業期間：平成30年度～)

#### サイエンス・テクノロジー人材育成事業 (2,134千円)

(事業期間：平成31～令和5年度)

県内の大学や企業と連携して、自然科学への興味・関心を高める取組や今後様々な学問分野において必要となるプログラミングについて学ぶ機会を提供し、それらを創造的に活用できる技術を習得させる。

#### 高等学校、特別支援学校非常勤講師配置事業 (126,473千円)

県立学校において、特色ある学校づくりに取り組む学校及び少人数授業等のきめ細かな指導を行う学校を支援するために非常勤講師を配置する。

### 校種間連携の促進

#### サイエンス・テクノロジー人材育成事業 (2,134千円)【再掲】

(事業期間：平成31～令和5年度)

### 情報教育の推進

#### 教育の情報化推進プロジェクト (60,708千円)【再掲】

(事業期間：令和3～5年度)

#### (新)遠隔授業配信センター開設準備事業費 (26,310千円)【再掲】

(事業期間：令和5年度～)

#### サイエンス・テクノロジー人材育成事業 (2,134千円)【再掲】

(事業期間：平成31～令和5年度)

**3 子どもの学びを支える魅力ある学校づくりを推進します**

**教職員の資質の向上**

**教員の人材確保対策 (25,673千円)**

教員としての優れた資質を有する人材を確保するため、人物重視の観点から教員採用選考試験を実施する。

これまでの試験内容等の改善点

**【令和5年度実施の主な改善点】**

- ・ 免除対象者や内容の一部変更。
- ・ 社会人特別採用選考の申請要件の緩和。
- ・ 小学校、中学校教諭の関東、関西会場受験をオンライン受験に変更。
- ・ 名簿登載期間更新制度の対象の拡充。

**【令和4年度実施の主な改善点】**

- ・ 教員免許状の所有の有無に関わらない選考として、英語資格等保有者対象特別採用選考、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士有資格者対象特別採用選考の実施。
- ・ 本県本務教員退職者対象特別採用選考の実施。
- ・ 第2次試験における受験者の負担軽減（適性検査はオンラインで実施、小論文は廃止。）

**【令和3年度実施以前の主な改善点】**

- ・ 出願資格（年齢）を全校種59歳以下に変更。
- ・ 加点申請の一部については、取得見込みの者も申請可。
- ・ 大学推薦特別採用選考の実施。
- ・ 教員免許状の所有の有無に関わらない選考として、特定教科（情報）特別採用選考の実施。
- ・ 社会人の柔軟な発想や多様な経験を教育に生かすため、社会人特別採用選考を実施。
- ・ 第2次試験小学校教諭及び養護教諭の実技適性試験の廃止。
- ・ 障害者の積極的な社会参加を目指すため、障害者特別採用選考を実施。
- ・ 教員採用候補者の名簿登載期間更新制度の導入。

教員採用候補者名簿登載者数の推移 (人)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
登載者数	347	376	433	426	440	438	463	510

**教員研修費 (34,979千円)**

- ・ 初任者研修事業
- ・ 若手教職員研修事業
- ・ 中堅教諭等資質向上研修事業
- ・ 15年経過教員研修事業
- ・ 幼稚園等新規採用教員研修事業

**指導が不適切な教諭等の指導改善研修**

教科等に関する専門的知識、技術等が不足しているため、学習指導を適切に行うことができないなど、いわゆる指導が不適切な教諭等に対して、教育センターでの一定期間の研修や学校における指導を行い、指導力の改善を図る。

## 【高校教育課】

### 教員の広域交流人事

長崎県公立学校教職員人事異動基本方針に基づき、児童生徒の教育優先の観点に立ったきめ細かな人事異動を実施する。

< 広域交流人事制度について（高等学校） >

- ・ 県内を6地区に区分し、在職期間中に4地区以上に勤務するもの。

### 教員の研修交流人事

複数の校種間の人事交流による研修を通して、指導内容や指導方法についての相互理解を図り、専門職としての幅を広げ指導力の向上を図る。

令和5年度研修交流

校種間	新規	継続	計
小中学校と特別支援学校間	7	4	11
中学校と高等学校間	0	0	0
高等学校と特別支援学校間	1	2	3
計	8	6	14

### 大学院修学休業制度

公立の小中学校・中学校・高等学校等の教員が専修免許状を取得する目的で、職務に従事せず大学院の課程等に修学できる。（平成13年度～）

### 教員中国派遣事業

中華人民共和国の要請に基づき、昭和56年度から中国の大学に高校の国語科の教員を派遣し、善隣友好と学術・文化の交流を促進する。

（令和3年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大により派遣見送り。）

- ・ 派遣大学 東北師範大学（長春）、廈門大学（廈門市）、首都師範大学外国語学院（北京市）
- ・ 派遣期間 2年間派遣 現在第20次派遣（2019～2020年度）
- ・ 派遣人数 延べ91名派遣

### 教職員人事評価制度の実施

教職員の能力及び業績を客観的かつ公正に評価することにより、人材育成を図り、学校組織の活性化に資するとともに、人事管理の基礎とする新たな人事評価制度を令和4年度から実施する。また、令和6年度から前年の評価結果を給与に反映する。

## 教職員が子どもと向き合う時間の確保に向けた取組の推進

### 教員の働き方改革

県立学校における働き方改革を推進するため、教員が学習指導や生徒指導等の本来的な業務に専念できる基盤づくりに取り組む。

そのため、令和3年3月に策定した教育職員の勤務時間の上限に関する条例、規則、方針に基づいた「業務改善アクションプラン（改訂版）」により教員の業務量の適切な管理、健康及び福祉の確保を図るための取組を推進する。

## 【高校教育課】

### 県立学校改革の推進

#### 県立学校改革推進事業（8,678千円）

国際化・情報化の進展等の急速な社会の変化や、少子化による生徒数の長期的な減少など、本県の県立高等学校が直面している諸課題に対応するとともに、21世紀を切り拓き本県の将来を築く人づくりを担う高等学校づくりを推進する。

- (1) 「第三期長崎県立高等学校改革基本方針」（計画期間：令和3年度～令和12年度）に基づく、教育改革や適正配置等の検討・実施
- (2) 「長崎県立高等学校教育改革第9次実施計画」の推進  
本県初の新たな普通科による取組の充実【令和4年度～】
  - ・松浦高校への「地域科学科」の設置に伴い、コーディネーターの配置や、地域と学校の協働によるコンソーシアムの活動の充実等を図る「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」を推進。（文部科学省委託事業）教科横断的な探究型学習に協働的に取り組む学科の設置【令和5年度】
  - ・長崎北陽台高校、佐世保南高校、島原高校、大村高校、猶興館高校の5校に「文理探究科」を設置。
- (3) 「魅力ある学校づくり」の研究校指定

## 4 学校・家庭・地域が連携・協働し、総がかりで子育て等の課題に取り組む活力ある地域づくりを推進します

### 学校・家庭・地域が連携・協働して子どもを育む環境づくりの推進

#### 学校評議員運営事業（2,072千円）

学校や地域の実情に応じて、学校運営に関し、保護者や地域住民の意向を把握・反映する学校評議員制度の活用を推進する。

【令和4年度】 県立高等学校・県立中学校59校に設置（延べ259名）

## 5 生涯を通じて学び続けることができる環境づくりを推進します

### 県民が生きがいを持って学ぶことができる学習環境の整備

#### 夜間中学設置調査研究

義務教育の段階における教育を十分に受けていない方に対し、年齢や国籍を問わず教育の機会を確保するための中学校夜間学級（夜間中学）設置に向けた調査研究を実施する。